倫　　理

（解答番号 1 ～ 33 ）

第１問　以下の**Ⅰ**・**Ⅱ**を読み，後の問い（**問１**～**８**）に答えよ。なお，会話と問いの**A**と**B**は各々全て同じ人物である。（配点　24）

Ⅰ　次の会話は，ある日の放課後に高校生**A**と**B**が交わしたものである。

A：うちの担任，ⓐ比喩やたとえが好きだよね。今日のホームルームで言ってた「人生はエクレア*のようだ」って比喩の意味，どう思う？　明日のホームルームで説明するからそれまでに意味を考えてくるよう言われたでしょ。

B：ぼんやり食べてるとクリームが垂れちゃうってことじゃない？　チャンスは逃すな，という感じかな。よく言われることだけれど，エクレアのクリームを気にしながら食べるイメージのおかげでⓑ言いたいことがよく伝わるよ。

A：そうなの？　私にとってエクレアはただ甘いものってイメージだから，人生はエクレアのように甘いって意味だと思っていたよ。

B：いや，さすがにそのⓒ解釈は間違っているんじゃないかな。人生が甘いだなんて，高校の先生がそんなメッセージは生徒に伝えないよ。

A：それもそうか…。あ，もしかしたら先生，堂々とそんなこと学校で教えられないから，比喩でそのメッセージを伝えようとしたのかも！

B：どうだろう，あの先生の口癖「人生をなめちゃだめ」だし。比喩ってなんか怖いな，自分の言いたいことが違う意味で，もしかしたらまったく逆の意味で理解されるかもしれないなんて。

A：でも，それだけ色々な意味が込められるところにこそ，比喩の価値はあるんじゃないかな。もしかしたら比喩を生み出すことのできるⓓ言葉そのもののすばらしさもそこにあるのかもしれない。

B：そういえば倫理の授業で古代の思想や宗教について勉強したとき，色々な比喩が出てきたよね。一緒に図書館に行って探してみようか。

*エクレア：細長いシュークリームの上にチョコレートをかけた洋菓子

問 1　下線部ⓐに関して，比喩やたとえを用いた思想や教えについての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 1

① イエスは，当時ユダヤ教において異教徒とみなされていたサマリア人が，負傷したユダヤ人を助けるというたとえによって，同胞愛を否定した。

② 孟子は，幼児が井戸に落ちかけているのを見れば誰もが，助けないのは恥ずかしいと思って行動するというたとえで，惻隠の心を説明した。

③ プラトンは，太陽があらゆる現象の元となっているように，正義のイデアが他のあらゆるイデアの成立の根拠となっていると考えた。

④ 仏教では，煩悩の代表的な三つである貪(欲望)・瞋(怒り)・癡(愚かさ)を，毒にたとえて三毒と呼んだ。

問 2　下線部ⓑに関連して，ギリシアの思想家たちによる，言葉に関わる活動についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。
2

① ソフィストが用いた弁論の知識や技術は，見掛けの背後にある真実を見いだすことを目的としており，しかもその真実はできるだけ多くの人々に説得的に伝えられることが重要だとされた。

② ソフィストによって広められた弁論の知識や技術は，真理の探究を目指すというよりも，都合に合わせて言葉を用いて，多くの人々を説得することを目指していた。

③ ソクラテスは，人々と対話を重ねた結果，善美の事柄について彼らが自分よりもよく知っていると気づき，対話相手への尊敬の念を抱くようになるとともに，自らの無知を自覚するようになった。

④ ソクラテスは，「ソクラテス以上の知者はいない」という神の言葉を受け取って，かえって自らの無知を自覚し，さらに人間が真実を追求することの無益さについて自覚することが重要だと説いた。

問 3　下線部ⓒに関連して，イスラームにおいて，クルアーンはアラビア語で下された啓示であり，他言語に翻訳したものは，間違った解釈の恐れがあるため啓典とは認められない。ムハンマドに啓示が下された状況を記している次の**資料**もそうしたイスラームの特徴に結び付くものであるが，イスラームについての説明および**資料**の内容の記述として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 3

資料　ハディース「啓示が神の使徒に下されたことの次第」より

天使が彼(ムハンマド)に現われて「誦(よ)め」と命じた。これに対して彼は「誦むことができません」と答えた。そこで天使は彼を捉え，苦しみに打ちひしがれるほど激しく羽交(はが)い絞(じ)めにしてから放し，また「誦め」と言った。……天使は三度目に彼を捉え……「誦め，「創造主(つくりぬし)なる主の御名において。いとも小さき凝血(ぎょうけつ)から人間を創り給う」と。誦め，「汝の主はこよなく有難い方」と」と言った。

……(「誦む」という行為に関して)「これを集め，これを誦ませるのは我ら(神)の仕事」という句を，イブン・アッバースは「神はこれを汝の心の中に集め，次いで汝はそれを唱える」……と説明している。この啓示以後，神の使徒(ムハンマド)は天使ジブリール(ガブリエル)が訪れると，これに耳を傾け，立ち去ると，天使が唱えたと全く同じように唱えた。

① 天使はイスラームにおいて信じることが義務とされる存在であるが，**資料**では天使がムハンマドに神の言葉を受け取ることを強要している。

② ムハンマドのもとに天使が最初に現れたのはヒラー山の洞窟であるが，**資料**では天使がムハンマドに神の言葉が書かれた巻物を手渡している。

③ スンナとはムハンマドが受け取った神の言葉をまとめたものであるが，**資料**では天使がムハンマドに神の言葉を声に出して唱えるよう命じている。

④ 神の教えは当時のメッカの支配者たちを通じて人々に広められたが，**資料**では天使がムハンマドに求められて，初めてその神の教えを授けている。

問 4　下線部ⓓに関して，次の**ア**～**エ**は，様々な宗教や思想における言葉の役割についての説明である。**ア**～**エ**から適当なものを全て選んだとき，その組合せとして正しいものを，後の①～⑨のうちから一つ選べ。 4

ア　老子のいう道は，それ自体を人間の感覚では捉えることができず，言葉で語ったり名付けたりできないという意味で「無」とも呼ばれる。

イ　古代イスラエルでは，イザヤなど神の言葉を伝える預言者が活躍し，バビロン捕囚のような苦難の原因は，民衆が神に背いたことにあると批判した。

ウ　イスラームの信者の義務には信仰(六信)と行為(五行)があり，信仰告白は，その文言を文字通り信じるという意味で「六信」の一つである。

エ　ブッダは苦にも楽にも偏らない中道を教え，詳しくは八正道の実践を説いたが，そのうちの一つが正しい言葉を語る「正語」である。

① **ア**と**イ**
② **ア**と**エ**
③ **イ**と**ウ**
④ **ウ**と**エ**
⑤ **ア**と**イ**と**ウ**
⑥ **ア**と**イ**と**エ**
⑦ **ア**と**ウ**と**エ**
⑧ **イ**と**ウ**と**エ**
⑨ **ア**と**イ**と**ウ**と**エ**

倫　理

Ⅱ　次の会話は，**A**と**B**が図書館からの帰り道に交わしたものである。

A：エクレアの比喩について考えさせるって，いい課題だったね。それをきっかけに哲学や宗教で使われている，色々な比喩やたとえを調べてみたら，面白かったもの！　ⓔ聖書にあるような羊や羊飼いの比喩では，ユダヤ教とキリスト教が生まれた時代や場所についてもイメージが膨らむね。

B：だからと言って，比喩によって，その思想家の言いたいことが手軽に理解できるようになるってわけではないよね。たとえばⓕ荘子のたとえを集めた本を読んでみたけど，荘子の主張が分かりやすく表されているとは言えないと思う。でも，情景が生き生きと描かれていて，意味をあれこれ考えてみることができるのは面白いな。

A：ⓖブッダとイエスの教えみたいに，直接的な言葉で表現するのが難しい内容だからこそ，比喩やたとえを使う場合もあるんじゃないかな。とはいえ，分かったような気になっているだけで，実は全然分かっていないのかもしれないけど…。

B：分かったような気になれたってことは，その内容に少しは近づけているんだと思うよ。そもそも，今まで考えもしなかったことについて考えるようになったというところに意味があるんじゃないかな。

A：そうか，確かにそうかもね。じゃあ，借りてきた本をもう少し一緒に読んでみようよ。

問 5　下線部ⓔに関して，**A**と**B**は図書館で見付けた次の**資料 1 ・ 2** について後の会話を交わした。会話中の［ **a** ］・［ **b** ］に入る語句の組合せとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。［ 5 ］

資料 1　旧約聖書「詩編」より

主は私の羊飼い。/私は乏しいことがない。/主は私を緑の野に伏させ/憩いの汀(みぎわ)*に伴われる。/主は私の魂を生き返らせ/御名にふさわしく，正しい道へと導かれる。/たとえ死の陰の谷を歩むとも/私は災いを恐れない。/あなたは私と共におられ/あなたの鞭(むち)と杖が私を慰める。

*汀：陸地が水に接する所

資料 2　新約聖書「ヨハネによる福音書」より

ヨハネ*は，自分の方へイエスが来られるのを見て言った。「見よ，世の罪を取り除く神の小羊だ。……」

*ヨハネ：弟子のヨハネではなく，イエスに洗礼を授けたヨハネのこと

A：**資料 1** の「主」は，十戒にもあるように，［ **a** ］を指しているよね。当時は，羊や羊飼いのいる風景が想像しやすかったんだろうな。**資料 2** でイエスが「神の小羊」と言われているのはどういう意味だろう？

B：イエスの時代のユダヤ教では「過越祭(すぎこしさい)」の時に，生贄(いけにえ)として羊を捧げる風習があったんだって。それを踏まえると**資料 2** では，その羊のイメージが「イエスは［ **b** ］」という考えと結び付けられているんじゃないかな。

① **a** 預言者　**b** イスラエルの民を導いてカナンの地に向かった
② **a** 預言者　**b** 人々の堕落を批判し律法を厳格に守ることを求めた
③ **a** 預言者　**b** その死によって人間の原罪を代わりに償った
④ **a** 神　**b** イスラエルの民を導いてカナンの地に向かった
⑤ **a** 神　**b** 人々の堕落を批判し律法を厳格に守ることを求めた
⑥ **a** 神　**b** その死によって人間の原罪を代わりに償った

倫　理

問 6　下線部ⓕに関して，次の**資料 1 ・ 2** は**A**と**B**が図書館で見付けた『荘子』の文章である。**資料 1 ・ 2** のそれぞれの内容を表す語句として最も適当なものを後の**ア**～**エ**から選んだとき，その組合せとして正しいものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 6

資料 1

恵子（けいし）に「あなたの言葉は無用（やくたたず）だ」と言われ，荘子は答えた。「無用が分からないと有用について語れない。広大な地面の内，有用なのは足で踏む面積だけだ。しかし，そこだけ残して周りの地面を……深く掘ってなくしたらまともに歩けるか。……無用が有用であることは明らかだろう」と。

資料 2

恵子に「私の所に大木が有るが……幹はこぶだらけで……大工も振り返らない。あなたの言葉も大きいだけで無用だから，同じですね」と言われ，荘子は答えた。「……その木を，何も無い場所，果てしなく広々とした野に植え，その傍らでふらふら無為に過ごし，自由にのびやかに木陰で寝転べばよいではないか。……無用だって少しも困りはしない」と。

ア　逍遥遊
イ　無用の用
ウ　万物斉同
エ　心斎坐忘

① **資料 1 ― ア**　**資料 2 ― ウ**　② **資料 1 ― ア**　**資料 2 ― エ**
③ **資料 1 ― イ**　**資料 2 ― ア**　④ **資料 1 ― イ**　**資料 2 ― ウ**
⑤ **資料 1 ― ウ**　**資料 2 ― イ**　⑥ **資料 1 ― ウ**　**資料 2 ― エ**
⑦ **資料 1 ― エ**　**資料 2 ― ア**　⑧ **資料 1 ― エ**　**資料 2 ― イ**

問 7　下線部ⓖに関して，**A**と**B**は図書館で見付けた次の**資料**１・２について後の会話を交わした。会話中の［ **a** ］・［ **b** ］に入る語句の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 7 ］

資料１　新約聖書より

イエスは言われた。「神の国は何に似ているか。何にたとえようか。それは，からし種*に似ている。人がこれを取って庭に蒔(ま)くと，成長して木になり，その枝には空の鳥が巣を作る。」

*からし種：直径１ミリほどの，ごく小さい種

資料２　『スッタニパータ』より

世尊*は言った。「カッパ**よ。(輪廻の)流れの中に立っているのに，きわめて恐ろしい激流が起こった時，老いと死に打ちひしがれている人たちにとっての，洲(す)***をお前に示そう。……無所有，無執着，これが洲にほかならない。私はそれを涅槃と呼ぶ。」

*世尊：ブッダのこと　**カッパ：質問者の名　***洲：川や海の中の小さな陸地

A：どちらの**資料**もたとえを使っているね。授業で，［ **a** ］と習ったよ。
B：この二つのたとえの内容を踏まえると，［ **b** ］ことができるね。

① **a**　**資料１**にある神の国は，人間にとって「福音」だと理解されている
　b　当時の人々にとって身近な出来事の中で，神の国や涅槃を思い描く
② **a**　**資料１**にある神の国は，人間の「試練」の場だと理解されている
　b　自然の脅威に抵抗する立場から，神の国や涅槃を想像する
③ **a**　**資料２**にある涅槃は，輪廻における一切の苦から解放された境地
　b　神の国や涅槃は，困難を克服した後に到達できるものと捉える
④ **a**　**資料２**にある涅槃は，解脱してブラフマン(梵)と合一した境地
　b　神の国や涅槃を，現実的な状況で起こりうる出来事と考える

倫　理

問 8　次の**メッセージ**は，**A**が**B**に宛てて書いたものである。**メッセージ**中の［ **a** ］・［ **b** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。なお，［ **b** ］は 46 ページの会話も踏まえること。［ 8 ］

メッセージ

今日は図書館で調べてみて，色々な発見があったね。そういえば倫理の授業でも，［ **a** ］と習ったことを思い出したんだ。図書館からの帰り道に話したように，初めて出会う比喩やたとえは，［ **b** ］ものだと改めて感じたよ。先生のエクレアの比喩も，その内容を自分で考えることが大事だったのかも。明日のホームルームで先生の考えていた意味を教えてもらうのも楽しみだね。

① **a**　エレアのゼノンが，運動や変化を論理的に矛盾なく説明するために，「アキレスと亀」のたとえを用いた
　b　それが伝える事柄について，正しい理解をすでに自分が持っているということを確認させてくれる

② **a**　プラトンが，人の魂の本来の姿を，翼を持った 2 頭の馬とその手綱をとる翼を持った御者からなる馬車になぞらえた
　b　伝達される内容を必ずしも分かりやすくするわけではないけれど，だからこそ自分で考えるきっかけを与えてくれる

③ **a**　上座部の出家者たちは，教えを乗り物にたとえて，広く一切の衆生の救済を目指す自らの教えを「大乗」と呼んだ
　b　正しい答えがすぐに分からないとしても，比喩の意味を様々に考えることで私たちの視野をさらに広げてくれる

④ **a**　仏教では，法(真理)を説くことを輪の回転にたとえて，ブッダによる最初の説法を「初転法輪」と呼ぶ
　b　難解な意味内容を正しく理解するために，その解釈はしかるべき権威に委ねたほうが賢明だと教えてくれる

第２問　以下のⅠ・Ⅱを読み，後の問い（問１～８）に答えよ。なお，会話と問いのCとDは各々全て同じ人物である。（配点　24）

Ⅰ　次の会話は，高校生CとDが，倫理の授業で日本思想について学習した後に交わしたものである。

C：ねぇ，星を見るのは好き？

D：どうしたの，急に。

C：さっきの授業でⓐ儒教の「天」という言葉があったでしょう。それで連想したのだけれど，私は天体観測が好きなんだ。望遠鏡を覗（のぞ）くのもいいけれど，肉眼で空の全体を眺めるのも好き。あんなふうに人間の手から遠く離れた天上に，美しく秩序立った世界があると思うと，なぜだかほっとするんだ。

D：そうなんだね。休みの日には遠くへ星を見に行ったりもするの？

C：うん，街の中ではなかなか見えづらいから，山へ行くこともあるよ。自然の中を歩いていると，ⓑ自然には何か大きな力があるって感じるんだ。

D：そうか，それは素敵だね。私はね，模型を組み立てたり，自分でパソコンを作ったりしていると楽しくって。自分で整然としたシステムを作り上げていくことにわくわくするんだ。少し前の授業で仏教について習ったときも，ⓒ現実社会の中で理想を実現しようとした仏教者の考えに共感したんだよね。Cさんの言葉を借りれば，自分の手元で美しく秩序立った世界を作ることに，喜びを感じるのかな。

C：なるほどね。私たちの趣味はかなり違うのに，同じように秩序立ったものが好きだという共通点があるんだね。

D：そうだね，話していて初めて気がついたよ。秩序というのは面白いテーマかもしれないね。もう少し一緒に調べて考えてみようか。

倫　理

問 1　下線部ⓐに関して，近世日本の儒学者についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 9

① 初めは僧侶であった藤原惺窩は，儒学者になってもなお，仏教の出世間的な考え方を評価し，身分的な秩序を超えてこそ心の平安があると説いた。

② 熊沢蕃山は，儒教の仁政の観点から，貧しい民衆の救済のために，山林を伐採し，新田開発を積極的に進めた。

③ 林羅山は，朱子学の理や敬の考え方が形式的であり，また厳格であると批判して，日常生活での生き生きとした愛を充実させることを説いた。

④ 新井白石は，朱子学者として合理性を重んじ，西洋の地理や文化にも関心を示したが，キリスト教の世界創造説は評価できないとした。

問 2　下線部ⓑに関連して，次の**ア・イ**は，日本において自然や世界がどのように捉えられていたかについての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 10

ア　人間の住む土地を取り巻く里山や海辺は，単なる自然環境ではなく，死者の霊魂が赴く他界に通じる場とも考えられた。

イ　天上の世界である高天原は，地上世界とは隔絶されており，田畑や家屋などは見られず，美しい自然が広がっているとされた。

① **ア**　正　　**イ**　正
② **ア**　正　　**イ**　誤
③ **ア**　誤　　**イ**　正
④ **ア**　誤　　**イ**　誤

問 3　下線部Ⓒに関して，次の**ア**～**ウ**は，現世における理想世界の実現を目指した仏教者である日蓮についての説明である。**ア**～**ウ**から適当なものを全て選んだとき，その組合せとして正しいものを，後の①～⑦のうちから一つ選べ。

11

ア　日蓮は，様々な経典に書かれた国難について研究した結果，現世に仏国土を打ち立てるためには，題目をひたすら唱えることが必要だという考えに至った。

イ　日蓮は，比叡山で様々な仏教教義を学び修行した後，各宗派の融和こそが無間地獄に堕(お)ちないための道であるとして四箇格言を説き，その教えを民衆に広めた。

ウ　日蓮は，大乗経典の一つである『法華経』にこそブッダの最高の教えが説かれていると考えて，国家安寧を願い人々を救済するために，その教えを広めた。

① **ア**
② **イ**
③ **ウ**
④ **ア**と**イ**
⑤ **ア**と**ウ**
⑥ **イ**と**ウ**
⑦ **ア**と**イ**と**ウ**

倫　理

問 4　51 ページの会話の数日後，**C**と**D**は二宮尊徳に関する次の**資料**について，後の会話を交わした。会話中の［ **a** ］・［ **b** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 12 ］

資料

天理*と人道との違いを区別できる人は少ない。人身があれば欲があるというのは天理である。田畑に草が生えるのと同じである。堤は崩れ，堀は埋まり，橋は朽ちる，これが天理である。しかし，人道は，私欲を制することを道とし，田畑の草を取るのを道とし，堤を築き，堀はさらい，橋は掛け替えるのを道とする。このように，天理と人道はまったく別のものであるから，天理は永久に変化せず，人道は一日怠るとたちまち廃れてしまう。そのため，人道は勤めることを尊び，自然に任せることを尊ばない。

（『二宮翁夜話』より）

*天理：天道のこと

C：天理と人道についての文章だね。ここでは［ **a** ］と述べられているね。
D：そうだね。二宮尊徳は［ **b** ］と学んだけれど，それと関係があるかな。

① **a**　天理が不変のものであるのに対して，人道は可変のものである
　b　父母や先祖に恩返しをするのではなく，天からの恩恵に報いるべきだと唱えた

② **a**　天理と人道は区別しがたいほど似ており，互いに反することはない
　b　農業を，天道と人道があいまって成り立つ営みであると考えた

③ **a**　人道によって天理を変革することは，人としてのつとめである
　b　武士も含めた全ての人が，直接，農業に携わる社会を理想とした

④ **a**　人道は，天理による荒廃に抗いつつ，人の手を加えて暮らしを保つ
　b　勤勉で節度ある生活をし，余剰を他者に譲ることで，社会に貢献することを説いた

問 5　**C**と**D**は，さらに調べていくうちに次の絵画を見付けて，後の会話を交わした。会話中の［ **a** ］・［ **b** ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 13 ］



C：室町時代に雪舟が描いたものだって。倫理の授業で，この時期の日本の美意識の特徴について，［ **a** ］と習ったね。

D：そうだね。この絵の［ **b** ］もそれに当てはまりそうだね。

① **a**　質素で落ち着いた枯淡な表現に，言葉を超えた奥深さを感じるもの
　b　墨の濃淡のみで奥行きを持たせた，深い精神性を感じさせる表現

② **a**　物の細部に明確な形となって表れ出る，幽玄の美を感じるもの
　b　自然の事物を細部まで目で見たままに描き取る，写実的な表現

③ **a**　飾り気がなく余白のある様子に，さびの境地を感じるもの
　b　対象を明瞭な輪郭線で囲い，余白を残した限定的な表現

④ **a**　満開の桜や紅葉のような華やかな自然美に，わびの境地を感じるもの
　b　山や水のある自然の風景を描いた，壮大さを感じさせる表現

Ⅱ　次の会話は，秩序について調べてきた**C**と**D**が，これまでの検討を振り返って交わしたものである。

D：調べてみてどう感じた？　私はやっぱり，人間の営みは面白いと思ったよ！この前に見た雪舟の絵にも，その当時の人々の自然の捉え方がよく表れていたね。

C：たしかに，ここまで一緒に調べてきた中で自然のことがたくさん出てきたけれど，そこには必ず，自然と関わり合ったり自然を表現したりする人間の存在もあったよね。でも実は，私は**D**さんほど人間のことに興味を持てていないんだよね…。

D：え，そうなの？　どうして？

C：うーん，うまく言えないんだけど…。私はね，秩序といえば，物理法則のような自然の秩序やⓓキリスト教の神が創造した秩序など，人間から離れた完全なものというイメージで，だからこそ美しいって感じるんだ。それで，**D**さんの言葉に少し戸惑ってしまって。

D：そうなんだね。私はむしろ，自分たちが秩序を創り出していくという側面を面白く思っているのかな。ⓔ法律とか制度とか，人間が秩序を形成し維持してきたのだと思うと，そういう人間の営みってなんだか尊いことのようにさえ感じるよ。

C：そうなんだ…。たしかに，人間の営みも重要だってことは，なんとなく理解はしているんだ。だけど，私はどうしても，人間による秩序って不完全で不安定だと感じてしまうなあ。

D：なるほどね…。私は，**C**さんの考えについても秩序についても，もっとよく理解したいな。もう少し一緒に勉強してくれる？

C：もちろん。私ももっと考えてみたい。

問 6　下線部ⓓに関連して，近代日本のキリスト教徒である内村鑑三についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 14

① キリスト教の神と信者を結び付けるものとして，教会の組織や儀式を重視し，教会を核とした人々の交わりを奨励した。

② 中江藤樹や西郷隆盛らを代表的日本人として評価し，日本では武士道精神を土壌としてキリスト教が根付くと考えた。

③ キリスト教徒として，神の義にかなう国づくりを目指し，イエス(Jesus)と正義(Justice)という「二つのJ」に身を捧げた。

④ キリスト教徒としての信念から正義を重んじ，日露戦争に際してはこれを正義のための戦いと捉えて，積極的に支持した。

問 7　下線部ⓔに関して，次の**ア**・**イ**は，社会や政治の問題を考えた思想家の説明であるが，それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 15

ア　経済学的な観点から貧困の問題を分析し，富める者が贅沢(ぜいたく)を慎むことによってそれを解決することを説いたが，やがてマルクス主義に傾斜した。

イ　明治憲法の天皇主権を前提としながらも，政治の目的を民衆の利福に置き，かつ，政治に民意を反映することを主張し，(男子)普通選挙の実現の原動力となった。

① **ア**　徳富蘇峰　**イ**　吉野作造　② **ア**　徳富蘇峰　**イ**　中江兆民
③ **ア**　河上肇　**イ**　徳富蘇峰　④ **ア**　河上肇　**イ**　吉野作造
⑤ **ア**　吉野作造　**イ**　河上肇　⑥ **ア**　吉野作造　**イ**　中江兆民
⑦ **ア**　中江兆民　**イ**　徳富蘇峰　⑧ **ア**　中江兆民　**イ**　河上肇

倫　理

問 8　**C**と**D**は，二人が関心を持った本の読書会を行うことにした。次の**資料**はその本の一部であり，次ページの会話は読書会中の会話である。会話中の［ **a** ］～［ **d** ］には，**資料**中の下線部**ア**～**エ**のいずれかが入る。その組合せとして正しいものを，次ページの①～④のうちから一つ選べ。［ 16 ］

資料

人間は，この宇宙に，秩序があるらしいこと，法則があるらしいことに気づきはじめ，それを確かめたのである。**ア**宇宙が何も知らないのに，人間は，宇宙の秩序を，一人一人自分の中にうつしとることができるものとなったのである。……しかも，宇宙の秩序をいささかたりとも，探り求める存在として，みずからを創造したのである。そして，さらに物の中にだけ，法則があるのではなくして，第一に，人間と物との間にも，また第二に，人間と人間の間にも，秩序があるらしいことに気づき，それを，絶えず探し求めているのである。

国家を築きあげる努力と試み，社会の関係，道徳，法律，経済，政治など，みんなこの試みにほかならない。

大きくいって，人間の技術は，みんな，このはかない試みなのである。**イ**渺（びょう）たる*宇宙に比して，小さな秩序ではあるが，しかし，宇宙のほかのどこにもありえない，創られつつある秩序である。

ウそれが創られたものであるかぎり，自然の星の軌道のように，寸分の狂いも謬（あやま）りもないものではない。むしろ，**エ**常に謬りつつ，その謬りをふみしめることが，真実へのただ一つの道しるべとなるといえるであろう。

（中井正一『美学入門』より）

*渺たる：果てしなく広がっているさま

D：宇宙の秩序と，人間の技術が創り出す秩序が，対比されているのかな？

C：うん，そうだと思う。それぞれの例も挙げられているように読めるよ。

D：なるほど，そうか。［ **a** ］の箇所だけれど，これは逆に言えば，宇宙の秩序は完璧だってことだよね？　ここを読むと，人間から離れた秩序こそ美しいっていう**C**さんの感覚もよく分かる気がするよ。

C：ほんとに？　ありがとう。私は，［ **b** ］の箇所と［ **c** ］の箇所の違いが気になっているんだ。それについてはどう思う？

D：え，どういうこと？

C：［ **b** ］の箇所は，すでに存在している秩序を人間が取り入れているように読めるけれど，［ **c** ］の箇所は，人間が独自に秩序を生み出しているように読めるでしょう。ちょっと意味合いが違うと思うんだ。どういう関係になっているんだろう？

D：わあ，ほんとだね。私はその違いにこれまであまり気付いていなかったよ。そうだな，おそらく，［ **d** ］の箇所が手掛かりになるんじゃない？　つまり，宇宙の秩序を人間が理解するためには，人間がみずから実験や実践をして試行錯誤することが必要だし，そうしているうちに人間独自の技術や秩序も生み出されていくことになりそうだよね。

C：なるほどね。そうだとしたら，人間の営みについて面白さや尊さを感じるという**D**さんの気持ちも分かってきたよ。人間のすることはたしかに不完全だけれど，そこにこそ可能性もあるんだね。

① **a** ― ウ　**b** ― ア　**c** ― イ　**d** ― エ
② **a** ― ウ　**b** ― イ　**c** ― ア　**d** ― エ
③ **a** ― エ　**b** ― ア　**c** ― イ　**d** ― ウ
④ **a** ― エ　**b** ― イ　**c** ― ア　**d** ― ウ

倫　理

第 3 問　以下の**Ⅰ**・**Ⅱ**を読み，後の問い(**問 1** ～ **8**)に答えよ。なお，会話と問いの**E**と**F**は各々全て同じ人物である。(配点　24)

Ⅰ　次の会話は，ある日の放課後に，高校生**E**と**F**が交わしたものである。

E：次回の倫理の授業では「哲学対話」をするって先生が言ってたね。いつもと違うことするのかなあ。趣旨は授業で説明してもらえるみたいだけど。

F：少し調べてみたんだけど，哲学対話は主体的に考えるための練習なんだって。小グループで輪になって話すみたい。

E：「主体的」か…。私，人前で話すのって苦手だな。発言する前に自分にⓐ偏見がないかどうか気になっちゃって。聴いている方が好きなんだよね。

F：倫理の話題ってデリケートな内容も多いしね。そういう話題だと，ますます話しづらい雰囲気になりそう。

E：人前で堂々と自分の考えを話せる人とか，何でも積極的に参加できる人って羨ましい。私も主体的になれたらなあ。

F：うーん，でも**E**さんって，いつも倫理の授業をしっかり聴いているし，誰かの深い話にも耳を傾けてくれるよね。そんな**E**さんは今一つ主体性に欠ける人ってことなの？　分からなくなってきた。

E：確かに。ⓑ今ここにいる私はそのままでも主体だよね？　それなのに「主体性がない」とか，これ以上「主体的になれ」って言われると，この私が否定されて，なんだか私自身とは疎遠な「主体」に振り回されてる感じがする。

F：前に授業で習ったⓒフランクフルト学派の考え方っぽい。けど，哲学者はともかく，先生や他の人たちは，主体性って何だと思っているんだろうね。

E：気になる。

F：私たちが今しているみたいな，答えも出そうにない話，哲学対話でしてみてもいいのかなあ。

E：どうかな。私はやっぱりみんなの前でこういう話をするの，不安かも。

問 1　下線部ⓐに関連して，ベーコンは様々なイドラについて論じた。イドラに惑わされた例の記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 17

① 新しいもの好きの人が，新しいものや考え方は何でも素晴らしいと思い込む誤りは，個人の資質から生じる「洞窟のイドラ」の一例である。

② 友人が言うことを，信頼する友人の言うことだから間違いないと思い込む誤りは，人間の本性から生じる「種族のイドラ」の一例である。

③ 皆が言っている噂を，皆が言っているというだけで信じる誤りは，権威に無批判に従うことによる「市場のイドラ」の一例である。

④ 占いが当たったからといって，占いで言われたことは正しいと信じる誤りは，言葉の不適切な使用による「劇場のイドラ」の一例である。

問 2　下線部ⓑに関連して，自己の実存について論じたキルケゴールの思想の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 18

① 真の実存に至る道として，感覚的に生きる美的実存から始まり，単独者として神に自己を委ねる宗教的実存を経て，社会的責任を果たす倫理的実存へと至ると説いた。

② 自己の身体は単なる物体ではなく，意識をもって生きられた身体であり，そうした身体を通して体験される豊かな世界と，自己の実存とは切り離せないと説いた。

③ 死や罪責などの状況に直面した際の絶望を通じて自己を超える超越者に出会い，実存に目覚めるためには，「愛しながらの戦い」である実存的交わりが必要だと説いた。

④ 真理は本来，自己の実存に関わるものであり，理性によって捉えられた一般的で客観的な真理とは異なり，「私にとって真理であるような真理」であると説いた。

問 3　下線部Ⓒに関して，次のア～ウは，ホルクハイマーとアドルノの思想の説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 19

ア　人間が自由な主体となるために理性を行使することで自然支配を行ってきた結果，自らが構築した合理的なシステムがかえって人間から主体性を奪う逆説に陥っていることを指摘した。

イ　科学の進歩は事実の積み重ねによって構築されるのではなく，その時代の科学者集団に共通の規準と認められている理論的枠組みの転換によって，革命的に変化すると主張した。

ウ　既存の社会を支配する，いかなる目的にも奉仕する道具や手段としての道具的理性という近代的理性の性格について，合理化された社会における人間のあり方だと批判した。

① ア 正　イ 正　ウ 誤
② ア 正　イ 誤　ウ 正
③ ア 正　イ 誤　ウ 誤
④ ア 誤　イ 正　ウ 正
⑤ ア 誤　イ 正　ウ 誤
⑥ ア 誤　イ 誤　ウ 正

問 4　後日，倫理の授業で，先生Tから哲学対話の趣旨について，次の**資料**1・2を用いた説明があった。**資料**1・2の内容を踏まえて，後のTの発言中の［ a ］・［ b ］に入る最も適当なものをそれぞれ次ページの(**ア**・**イ**)(**ウ**・**エ**・**オ**・**カ**)から選んだ場合，それらの組合せとして正しいものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。［ 20 ］

資料1　パース「プラグマティズムとは何か」より

二つの重要な事柄を確認しよう。第一は，人間が決して根っからの個人ではないことだ。人間の思考とは，自分自身との対話に他ならない。換言すれば，絶えず自分の中に現れてくる第二の自我との語り合いに他ならない。第二は，人間集団とは一種の人格であること，しかも，個人的な有機体としての人格よりももっと高次の人格であることである。

T：**資料**1でパースは，［ a ］と説いています。このパースらの影響を受け，**資料**2は，哲学対話の目的について説明しています。

資料2　『子どものための哲学教育ハンドブック』より

対話的議論の目的は，共に生み出し，相互理解を試みることである。重要なのは，参加者の発言が，哲学探究の共同体を越えて影響を及ぼしうると認識することである。参加者には，傾聴すること，異なる見方にオープンであること，複雑な問題に立ち向かうことなど，民主的社会の中でよく生きるために必要な性質を育むことが求められる。……メキシコでの哲学対話に参加した一人は，対話を振り返ってこう述べる。「他の人々の経験や考えの一つ一つが私自身を形作り，異なる観点から問いを考えさせてくれました。これが今日ある私のとても重要な部分となっています。」

T：**資料**2によると，哲学対話の目的とは，［ b ］ということですね。哲学的な問題について，複数人で対話をしながら探究することで，どんな景色が見えてくるでしょうか？　試しにやってみましょう！

倫　理

a に入る記述

ア　人間は個人として思考するときにも自分自身と対話するものであり，さらに集団としては対話を通してより高次の人格を備える

イ　人間は根っからの個人ではなく一人だけでは思考できない存在なので，自分自身との対話ではなく集団での対話を通じて考えることが重要だ

b に入る記述

ウ　様々な他者の見方に対してオープンな態度を身に付け，互いがよりよく生きられるよう，自分より他者の観点を優先して物事を考える

エ　民主的社会でよく生きるために，異なる声に耳を傾け，それらを受けとめ，考える姿勢を持って，相互に理解し合える力を身に付ける

オ　実際に対話に加わっている人だけでなく，その外にいる様々な人の批判を想定することで，自分の意見をより強固にしていく

カ　合意形成を円滑に実現させるために，同じ意見を持つ参加者を中心とした対話の場を作って意見を取りまとめることが新しい自分を作る

①　**a** ― **ア**　　**b** ― **ウ**
②　**a** ― **ア**　　**b** ― **エ**
③　**a** ― **ア**　　**b** ― **オ**
④　**a** ― **ア**　　**b** ― **カ**
⑤　**a** ― **イ**　　**b** ― **ウ**
⑥　**a** ― **イ**　　**b** ― **エ**
⑦　**a** ― **イ**　　**b** ― **オ**
⑧　**a** ― **イ**　　**b** ― **カ**

Ⅱ　別の日の放課後，**E**と**F**は，授業で行った哲学対話の振り返りをした。

E：哲学対話，やってみてどうだった？

F：哲学者の理論ありきではなくて，あえてⓓ自分で考えてみるっていうのが新鮮だった。もやもやした思考を言葉にするのは難しかったけどね。でも，自分の経験に即して話すから地に足が着いてる感じがした。

E：分かる。ⓔ対話って，討論とか普段の会話とは違うんだなって思った。対話の場にいる自分も，いつもの自分とは違う感じがした。ちょうどこの間の放課後，主体性について話したでしょ。対話をしたら，主体性をどう考えたらいいのか，少し見えた気がするんだ。

F：そうなんだね。主体性について，今はどんな風に考えてるの？　あと，対話前に，**E**さんは不安だって言ってたよね。それは大丈夫だった？

E：最初は不安だったけど，ひたすら話を聴いて考えているうちに楽しくなった。それで，主体性については二つ発見したことがあるよ。一つは，いろんな考え方やあり方を共有する対話の場に，「私たち」っていう共同の主体が現れているんじゃないかってこと。でも，その中で「私」っていう個人の主体性は消えてしまうわけじゃなくて，むしろ私らしく存在してた。聴くのが好きな自分をいつも以上に実感できたから。

F：**E**さんは，自分を含めた対話の輪そのものが主体だと感じたんだね。面白い。この間の授業で習ったⓕヘーゲルの思想を思い出すなあ。…それで，もう一つは？

E：主体性って何なのか，まだ分からないんだけど，ちょっと広い視野で考えられるようになったってことだよ。

F：それってどういうこと？

E：対話のおかげで主体性に関する問いが増えて，今後何をどう考えればいいのか，その地図を手に入れたような感じがするっていうこと。

F：分からなさをポジティブに捉えられるようになったんだね。

E：そう。授業前は対話とか気が進まなかったけれど，今は，新しい問いでもっと対話をしてみたいなって思う自分がいるんだよね。

問 5　下線部ⓓに関連して，「哲学の第一原理」を探究する中で「私は考える，ゆえに私はある」と説いたデカルトについての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 21

① 物事について正しく判断し，その真偽を見極める良識は万人に等しく与えられているため，その良識に基づき，極端な意見を排し穏健な意見に従うというやり方によって，方法的懐疑を遂行することができると説いた。

② 精神と身体を独立した存在とみなす心身二元論（物心二元論）の立場から，両者の関係を道徳的な実践の問題として捉えることは誤りだと批判し，人間の精神と身体の連動を認めないとした。

③ 生まれつき備わる生得観念は存在せず，全ての観念は経験から得られるとし，経験によって与えられる観念の組合せから理性が複雑な観念を作り，その観念に名前を与えることで言葉のやり取りが可能になると考えた。

④ 当初は中世スコラ哲学を学んでいたが，それらの説に疑問を抱き，学校で学問を修めるのみならず「世間という大きな書物」を学び，学問の基礎を発見することが重要だと考えた。

問 6　下線部ⓔに関して，次の**資料**は，討論，会話，対話の違いについてフロムが述べた文章である。フロムの思想と**資料**の内容の説明として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 22

資料　『所有か存在か(To Have or To Be?)』より

討論で人は，自分の意見を変えたがらない。それは意見が自分の所有物だからであり，これを失うと貧しくなってしまうからだ。会話の場合，人は過去の成功，性格，立場，人脈，見た目など，自分の所有物を自分の支えにする。これに対し，存在を支えとする人は，自分が存在し生きているという事実，所有物を手放して応答する勇気さえあれば新しいものが生まれるという事実を信頼する。そして，自分の所有物を気に掛けるあまり自分を抑えることがないので，話すときに生き生きとする。その生き生きとした様が伝播(でんぱ)し，相手の殻を破る。こうして会話は，商品(情報，知識，地位)の交換ではなくなり，もはや誰が正しいかは問題にならない対話になる。争い合った人々も，勝ち負けではなく，歓(よろこ)びに満ちて別れる。

① 人の心の深層には，個人を超えて一定の人間集団に共通する集合的無意識が存在すると提唱したフロムは，**資料**において，会話には「何を所有しているか」への不安で自己を抑制することがない豊かさがあると述べている。

② 人間には自己保存という根本的な欲望があり，この欲望を自由に追求する権利があると考えたフロムは，**資料**において，人は討論を行うときに所有物を失うことを恐れるために，意見を守り抜こうとすると述べている。

③ 自由を重荷と感じ，自由から逃れて権威に服従する大衆の心理的メカニズムを明らかにしたフロムは，**資料**において，所有に縛られた討論や会話とは違った，あるがままの自己で臨む対話の意義について述べている。

④ 抑圧からの解放を望むだけではなく主体的に自己の行為を選択する積極的な自由の重要性を説いたフロムは，**資料**において，討論を通じて人は自己だけではなく他者のあり方を変容させなければならないと述べている。

問 7　下線部ⓕに関して，ヘーゲルの「絶対精神」の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 23

① 絶対精神は，世界を包括し歴史を動かす当のものであり，世界史の中では「世界精神」として働き，ある人物や民族の行為を通じて全ての人の自由を実現しようとする。

② 現実の社会は絶対精神に支配され，必然的な法則に基づいて歴史的に発展していくため，人間は個人の自由を制限して，その法則に従わなければならない。

③ 歴史の発展は，全ての人の自由を実現するという理想のために苦闘する個人の自覚と努力によるのであり，そうした個人の強固な主体性が絶対精神と呼ばれる。

④ 絶対精神は，歴史を根本で支配する精神であるが，常に理性的で自由な人間の行為によってその支配が覆される，「理性の狡知」と呼ばれる可能性を秘めている。

問 8　65 ページの会話の翌日，**E**は，自主的に哲学対話の会を開こうと思い立ち，他の生徒たちへの呼び掛けとして，次の**趣旨説明**を作成した。65 ページの会話も踏まえて，**趣旨説明**の［ **a** ］に入る記述として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 24 ］

趣旨説明

○月○日の放課後に，哲学対話の会を開きたいと思います。哲学対話は，日々の生活の中で気になる様々な事柄について，みんなで一緒に問い，考え，語り，聴くという活動です。

この会を開催するに及んだきっかけは，先日，倫理の授業で哲学対話をして，その前後で「主体性」について自分なりに考えた経験です。対話後に，私は，［ **a** ］と考えました。そこで，自分でもっと対話の場を作ってみたいと思いました。気になる問いを共有し，対話で深め，一緒に探究する楽しさを共有しませんか？

① 対話によって，多様な考え方を包み込んだ共同的な主体性が実現し，一人で抱えていた問いの答えも明確に分かるようになる

② 対話による共同探究において人々の思考が交わることで，共同的な主体性が生まれ，個々の考える主体も活性化する

③ 主体性は，「私」という個人に備わるものではなく，人々が集まって対話的に探究を行う場に現れる「私たち」という共同的な次元に宿るものだ

④ 対話での主体的なあり方とは，ただ傾聴するのではなく，共同探究の発展に貢献するために，自分の思考を自分の言葉で積極的に表現することだ

倫　理

第４問　以下のⅠ・Ⅱを読み，後の問い(**問１**～**９**)に答えよ。なお，会話と問いの**G**と**H**は各々全て同じ人物である。(配点　28)

Ⅰ　倫理の授業で出た次の**課題**について，高校生**G**と**H**が後の会話を交わした。

> **課題**　悪いことが起こるとしても，それが意図されていなければよいのか
>
> 自分の行いを正当化するために，「そんなつもりはなかった」と言ったことはありませんか。このような表現は，積極的差別是正措置，生命維持治療の差し控えなどの社会的な問題の議論にも出てきます。調べてみましょう。

G：そういえば，部活の勧誘のチラシを多めに作って余らせて，ⓐ言い訳したことがあったな。「部員を増やしたい一心で，ⓑ資源を無駄にするつもりはなかった」って。

H：積極的差別是正措置について調べていても似た表現が出てきて，面白かったよ。例えば，女性を積極的に管理職に登用する会社の制度のことなんだけど。

G：男性の昇進が減るから，男性への逆差別だという批判もあると聞いたよ。

H：うん，だけど，意図されているのはあくまで女性の登用で，男性の昇進を減らすことではないから正当化できる，という意見もあるんだ。仮に男性の昇進を妨げることが悪いことでも，ⓒ差別ではない，と言えるのかもしれない。

G：私は，ⓓ終末期医療の問題の方を調べたよ。患者のⓔ生命の維持に必要な治療でも，回復に役立つ見込みがなく，非常につらくて，本人が望んでいない場合などには，差し控えることが許される，という考え方があるよね。

H：教科書では，「尊厳死」っていう言葉で出てきたっけ。

G：うん。それも，あくまでつらい治療を避けるためにしていることで，患者の命を短くすることは意図されていない。そんな風に言われるんだって。

H：なるほど。でも，やっぱり，どうだろう。考え方や，ⓕ性格や気質によっても，人の意見が違ってきそうな問題だなあ。たとえⓖ意図が違っても，結果は同じだよ。男性の昇進が減ったり，生命が短くなったりする事実は変わらないよね。

問 1　下線部ⓐに関連して，心理的な適応についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 25

① 物事がうまくいかなかったとき，相手が自分を嫌っていたからだと言い訳をし，実は自分が相手を嫌っていたことに気付かないことを，昇華という。

② 物事がうまくいかなかったとき，他人に八つ当たりして欲求不満を衝動的に解消することを，近道反応という。

③ 物事がうまくいかなかったとき，社会的に価値のあるものへ欲求の対象を置き換えることを，投射という。

④ 物事がうまくいかなかったとき，自分は間違っていないと言い訳をし，子どものように激しく抵抗することを，失敗反応という。

問 2　下線部ⓑに関連して，次の**ア・イ**は，地球環境のあり方について論じた人物の説明であるが，それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 26

ア　地球環境は閉じられた空間であり，資源には限りがあるため，環境の汚染と破壊は人類にとって致命的な問題であると訴えた。

イ　生物学者の立場から書物を著し，農薬と殺虫剤の大量使用が自然の生態系にもたらしている破壊的な影響を問題視した。

① **ア**　エマソン　　**イ**　ヨナス
② **ア**　エマソン　　**イ**　シンガー
③ **ア**　エマソン　　**イ**　カーソン
④ **ア**　エマソン　　**イ**　ソロー
⑤ **ア**　ボールディング　　**イ**　ヨナス
⑥ **ア**　ボールディング　　**イ**　シンガー
⑦ **ア**　ボールディング　　**イ**　カーソン
⑧ **ア**　ボールディング　　**イ**　ソロー

倫　理

問 3　下線部ⓒに関連して，サイードが論じたオリエンタリズムという考え方があるが，オリエンタリズムの例として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 27

① ピアノを習っている **P** さんは，いつも西洋近代の音楽を引き合いに出して，日本の伝統音楽を批判する。

② 留学経験のある **Q** さんは，アジアの中でも日本が最も西洋的だと考えていて，他のアジアの国々を見下すような発言をすることが多い。

③ 歴史が好きな **R** さんは，イスラーム圏の文化について理解を深めるために図書館で調べ物をする一方で，西洋の宗教については関心が薄い。

④ 海外旅行が趣味の **S** さんは，東南アジアの諸国には，西洋諸国にはないエキゾティックでミステリアスな魅力があると考えている。

問 4　下線部ⓓに関して，次の**ア**～**ウ**は，終末期医療に関わる施設や制度についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 28

ア　病気に伴う肉体的・精神的苦痛を取り除く緩和ケアを，終末期の患者に提供する施設の一つにホスピスがある。

イ　生命維持治療や苦痛緩和の処置など，終末期の措置をどうしてほしいか，あらかじめ意思表示しておくための文書をリヴィング・ウィルという。

ウ　終末期の患者を苦痛から解放するために，患者からの要請に基づいて致死薬を投与する医師の行為については，法的に認めている国や地域はない。

①	ア 正	イ 正	ウ 正	②	ア 正	イ 正	ウ 誤
③	ア 正	イ 誤	ウ 正	④	ア 正	イ 誤	ウ 誤
⑤	ア 誤	イ 正	ウ 正	⑥	ア 誤	イ 正	ウ 誤
⑦	ア 誤	イ 誤	ウ 正	⑧	ア 誤	イ 誤	ウ 誤

問 5　下線部ⓔに関連して，生命のあり方を論じた思想家についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 29

① ベルクソンによると，人間は，絶えず新たなものを生み出そうとして普遍的な目的へ一直線に進歩していこうとするエラン・ヴィタールに身を委ね，開かれた社会を築かなければならない。

② ベルクソンは，近代以降の社会構造を批判していく中で，今日の福祉国家に至っては生命のあり方に関わる事柄まで統制するようになったと説き，人々を抑圧する権力の構造を描き出した。

③ シュヴァイツァーによると，人間は，「生きようとする生命に囲まれた，生きようとする生命である」との自覚に基づき，ある生命を救うために別の生命を奪うという葛藤を引き受けなければならない。

④ シュヴァイツァーは，未熟練工の生活に身を投じ，彼らの不幸を分かち合う中で，人間の生命よりも機械の方に尊厳が認められている社会のあり方を批判的に考察した。

問 6　下線部ⓕに関して，ビッグファイブ(五因子モデル)の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 30

① 人間の性格を価値観の違いから，理論型，経済型，審美型，社会型，権力型の五つから捉える，特性論的アプローチである。

② 人間の気質を価値観の違いから，理論型，経済型，審美型，社会型，権力型の五つに分類する，類型論的アプローチである。

③ 人間の性格を開放性，誠実性，外向性，協調性(調和性)，神経質傾向(神経症傾向／情緒安定性)の五つから捉える，特性論的アプローチである。

④ 人間の気質を開放性，誠実性，外向性，協調性(調和性)，神経質傾向(神経症傾向／情緒安定性)の五つに分類する，類型論的アプローチである。

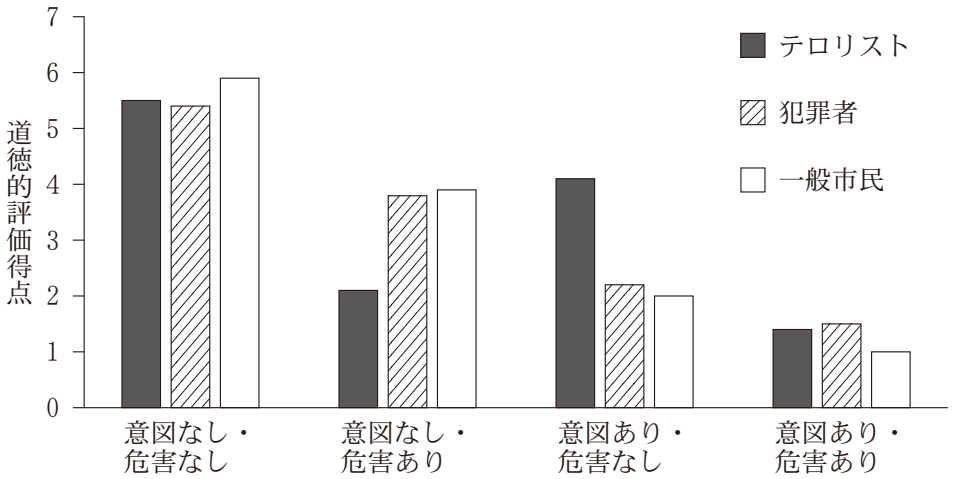
問 7　下線部ⓖに関して，次の**資料**と後の**図**は，反政府テロ活動での殺人行為などで服役中の人々(以下，テロリスト)，テロ活動以外で殺人を犯した受刑者(以下，犯罪者)，一般市民に，他人に危害を加える行為が道徳的に許されるかの判断について尋ねた調査の方法と結果である。次ページの**考察**は，結果についてまとめたものである。**考察**の［ **a** ］～［ **c** ］に入る記述として最も適当なものをそれぞれ次ページの(**ア**・**イ**)(**ウ**・**エ**)(**オ**・**カ**)から選んだ場合，それらの組合せとして正しいものを，次ページの①～⑧のうちから一つ選べ。

［ 31 ］

資料

テロリスト 66 名，犯罪者 13 名，一般市民 66 名を対象に，次の四つの場面における行為についての文章を読ませた。文章内で，登場人物が人に対して，⑴危害を加える意図がなく，結果的にも危害を加えなかった場面，⑵危害を加える意図はなかったが，結果的には危害を加えてしまった場面，⑶危害を加える意図はあったが，結果的には危害を加えなかった場面，⑷危害を加える意図があり，結果的にも危害を加えた場面，の 4 パターンの場面が描かれていた。そして，それぞれの場面での登場人物の行為に対して，それが道徳的に許されるかどうかを，「許されない」が 1 点，「許される」が 7 点になるように，1 点から 7 点で評価させた。各行為の道徳的評価の平均得点は**図**の通りであった。

図　4 つの場面の行為に対する道徳的評価の平均得点



(資料)　Baez, S.(他)，*Nature Human Behaviour* 1(0118), 2017 より作成。

考察

この**資料**と**図**から，危害を加える意図の有無と，行為の結果としての危害の有無が一致しているときは，その行為に対する道徳的評価が全てのグループで同様であった。しかし危害の意図の有無と，行為の結果としての危害の有無が一致していないときには，グループの間で道徳的評価得点に差が見られた。意図せずに危害を加えてしまった行為に対して，一般市民や犯罪者はテロリストよりも，［ **a** ］。また危害の意図はあったが，結果的に危害を加えなかった行為に対して，［ **b** ］道徳的に許されないと評価していた。これらの結果から，犯罪者や一般市民に比べて，テロリストは，［ **c** ］を重視して，行為が許されるかどうかについて判断していたと言える。

［ **a** ］に入る記述

ア　道徳的に許されると評価していた

イ　道徳的に許されないと評価していた

［ **b** ］に入る記述

ウ　テロリストは犯罪者や一般市民よりも

エ　犯罪者や一般市民はテロリストよりも

［ **c** ］に入る記述

オ　意図よりも結果

カ　結果よりも意図

①	**a** ― ア	**b** ― ウ	**c** ― オ	②	**a** ― ア	**b** ― ウ	**c** ― カ
③	**a** ― ア	**b** ― エ	**c** ― オ	④	**a** ― ア	**b** ― エ	**c** ― カ
⑤	**a** ― イ	**b** ― ウ	**c** ― オ	⑥	**a** ― イ	**b** ― ウ	**c** ― カ
⑦	**a** ― イ	**b** ― エ	**c** ― オ	⑧	**a** ― イ	**b** ― エ	**c** ― カ

Ⅱ　70 ページの会話が交わされた翌週の倫理の授業で，先生**T**が次の**板書**を示し，**G**，**H**と後の会話を交わした。

> **板書**　二重結果原則
>
> 行為は，悪い結果を生じさせると分かっていても，同時に良い結果も生じさせると分かっていれば，許されることがある。その条件を示した原則。
>
> 【条件 1】意図されているのが，良い結果だけで，悪い結果ではないこと。
>
> かつ，【条件 2】良い結果が，悪い結果を埋め合わせられるほど望ましいものであること。

T：この二重結果原則を使って，前回の授業の問題を考えてみましょう。この原則に従うと，同じように悪い結果を生じさせる行為でも，それを起こす意図があったかどうかで，許されたり許されなかったりします。

H：こんな考え方があるんですね。でもこれだと，そんなつもりはなかったと言えば，何でも許されてしまいそう。極端なことを言えば，まだ治せるはずの，末期ではない患者を治療せずに死なせても，医師が死なせる意図はなかったと言えば，許されてしまわないでしょうか。

G：でも，**板書**の条件 2 を見てよ。悪い結果を埋め合わせるくらいの良い結果が伴わなければ許されない，ということだよね。**H**さんのいうケースだと，まだ治せる人が亡くなってしまうわけだから，例えばつらい治療を避けられるということの良さだけでは，埋め合わせられない，とは考えられないかな。

T：よいポイントですね。結果が全く問題にならないわけではないんですよ。

H：でも，気になります。そもそも，ⓗ人が何かしているときにどんな意図を持っているのかなんて，はっきり分かることでしょうか。

T：それも重要な疑問ですね。この原則については正しくないという意見もあります。他方で，私たちの普段の物の見方や，社会問題に関する議論の中に，この原則と一致する考え方が見つかることも事実です。意図というキーワードに注目すると，色々な倫理的な意見をよりよく理解できるはずです。

問 8　下線部ⓗに関して，次の**資料**は，哲学者のG. E. M. アンスコムが，二重結果原則を扱った論文の中で，意図とはどのようなものかについて述べた箇所の抜粋である。**資料**の内容の説明として適当なものを次の**ア**～**ウ**から全て選んだとき，その組合せとして正しいものを，後の①～⑦のうちから一つ選べ。

32

資料　「戦争と殺害」より

……デカルト心理学と呼べるものが哲学者と神学者の考えを支配してきた。それによると，意図とは，意のままに生じさせることができる精神内部の行為である。さて，意図は行いの善悪を決定づける。そこで，意図とは何かに関するこの理論に従うと，どんな行いでも正当化してしまう驚くべき方法があることになる。ただ，好きな方へ「自分の意図の向きを変える」だけでよいのだ。……例えば，盗みに入ろうとしている主人のために召し使いが梯子(はしご)をしっかり押さえておくことは，召し使いがただ馘(くび)になるのを避けようとしてそのようにしているだけなら問題ない，というのである。……しかし，自ら選んだ目的のためにとった手段を，自分が行おうと意図してはいないなどということはあり得ない。

ア　人の意図は，本人が思いのままに生じさせたり向きを変えたりできるものだという考え方を，アンスコムは否定している。

イ　行いの善悪が意図次第だとする考え方と，デカルト心理学を組み合わせた場合，どんな行いでも正当化できてしまう，とアンスコムは述べている。

ウ　召し使いが主人の犯罪に加担したとしても，馘になるのを避ける目的であれば，やむを得ない手段として正当化される，とアンスコムは述べている。

① ア　② イ　③ ウ　④ アとイ
⑤ アとウ　⑥ イとウ　⑦ アとイとウ

倫　理

問 9　行為の是非と意図についての記述として，70 ページの会話と 76 ページの**板書**および会話の趣旨に最もよく合致するものはどれか。次の①～④のうちから一つ選べ。 33

① 二重結果原則に従うと，二つの行為について，たとえそれぞれの意図に違いがあっても，両方の結果が全く同じであれば，一方だけ許されて他方が許されないということはない。

② 女性を優先的に登用する積極的差別是正措置については，男性の昇進を妨げるという悪い結果を意図した制度ではないという意見がある。しかし，仮に悪い結果が意図されていたとしても，二重結果原則で正当化できる。

③ 患者の生命維持に必要な治療を差し控えることが二重結果原則の下で許されるための条件の一つは，つらい治療を避けられるという良い結果が，死期が早まるという悪い結果を埋め合わせるほど大きいことである。

④ 人の意図は，はっきり分からないと思われるかもしれないが，それでも，なされた行為の意図が，その行為を正当化できるかどうかの基準であるという考え方の正しさについては疑いの余地がない。